

# 申請書及び技術内容説明書記入要領

(様式第1号)

## 環境技術評価に関する申請書

平成24年〇月〇日

地方独立行政法人

大阪府立環境農林水産総合研究所 理事長 様

(所在地) 大阪市東成区中道1-3-6 2

(会社名) 大阪工業株式会社

(代表者名) 代表取締役 大阪 太郎 代表者印



地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所 環境保全推進のための技術評価及び普及に関する実施要領第6条第1項に基づき、申請します。

### 記

- 申請技術の名称 『〇△●▲〇△●▲〇△●▲〇△●▲』
- 申請技術の内容 技術内容説明書のとおり
- 申請者の概要
  - 設立年月日 1974年10月2日
  - 資本金 1,000万円
  - 従業員数 50名
  - 主な事業内容 塗料の開発、製造及び販売
  - 共同研究開発等に係る実績等
    - 「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」等の法令に基づく認定・承認
      - [ 経営革新計画承認 ]
    - 公的試験研究機関・大学との共同研究開発等
      - [ ●●●大学との共同研究による塗料の開発 ]
    - 公益財団法人 大阪産業振興機構等の事業化に係る支援事業の認定
      - [ ]
    - 環境・品質マネジメントシステムの外部認証
      - [ ISO14001 認証取得 ]
- 連絡担当者
  - ①担当者氏名 大阪 次郎
  - ②所属・役職 技術部 技術開発課長
  - ③連絡方法 (電話) 06-××××-×××× (FAX) 06-××××-××××  
(E-mail) osaka@×××.co.jp

# 技術内容説明書

技術の名称	『○△●▲○△●▲○△●▲○△●▲』
記載内容の取扱い	<input checked="" type="checkbox"/> 内容の全てを公開することに同意 <input type="checkbox"/> 技術普及の際に記載内容の一部の非公開を要求（下線部分が非公開情報）

## ① 技術・製品について

### ■技術・製品の概要

※用途、機能、適用対象等を記述してください。

- 開発された技術・製品がどのような用途・機能を持つのか、基本仕様はどんなものか、また、適用対象・範囲がどのようなものか具体的に記載してください。
- 環境保全・改善効果の概要についても具体的に記載してください。
- 抽象的な表現は避けてください。

### ■原理

※根本となる理論・仕組みについて記述してください。

※特許権や実用新案権、商標権など知的財産権の取得状況や取得予定について記述してください。

- 開発された技術・製品の根本となる理論や仕組みについて、具体的に分かりやすく記載してください。参考文献や参考資料など入手が可能なものがあれば記載または添付してください。
- 独自性を維持するための知的財産権の保有状況、特許実施権などを記載してください。

### ■特徴・長所

※先進性・独創性（アピールポイント、ここが新しい、独創性があると思われる点）を記述してください。

※従来技術・製品との優位性（他と比べて優れている点、強味や違いなど）とその根拠を具体的・定量的に記述してください。

- 開発された技術・製品の先進性や独創性について、具体的に分かりやすく記載してください。また、従来技術・製品と比べて優れている点について、例えば、「他社製品と比べて耐久性が2倍」や「自社製品（型式〇〇）と比べ電気使用量が50%削減」のように具体的に記載し、資料を添付してください。

## ② 環境性能に関する事項

### ■ 環境保全・改善効果

※環境保全・改善効果を客観的かつ明確に把握するため、従来技術との比較も交えながら、可能な限り定量的なデータにより記述してください。

- 技術・製品の概要で記載した環境保全効果について、数値により表現してください。  
(例)・塗料の硬化剤に含まれる毒性の強いヘキサメチレン=ジイソシアネートを50%削減。
  - ・使い捨てのストレッチフィルムと比べて、1490 kg-CO<sub>2</sub> (1000回使用の場合)を削減。
  - ・市販の金型温度調節機のCOP 1.9が25～55℃の範囲でCOP 5.0に向上。
- 環境保全・改善効果を算出した根拠について、用いた試験方法、試験条件、算出方法、試験結果、試験実施機関名などを記載し、資料を添付してください。

### ■ 副次的な環境影響

※技術・製品のもたらす負の副次的影響（大気・水・土壌等への影響、廃棄物の発生、資源・エネルギーの消費、大気への熱影響等）の有無とその程度、また、その影響を減少または除去する方法等について、可能な限り定量的なデータにより記述してください。

- 負の副次的影響（好ましくない影響）とその程度、影響を緩和する方策について記載し、それらの算出根拠についても、用いた試験方法、試験条件、算出方法、試験結果、試験実施機関名などを記載し、資料を添付してください。

### ③ 経済性

#### ■ 初期経費と運転・維持管理費

※技術・製品の初期経費（設置・導入費用）と運転・維持管理費（運転費、保守費、管理費、維持費）及び投資回収年数について記述してください。

●製品の購入や技術の導入に係る費用を、設置工事費や手数料なども含めて記載してください。

●光熱水費、消耗部品の価格と交換頻度、点検調整に係る費用と頻度など、運転・維持管理費となる項目を積み上げて年間平均〇〇円のように記述してください。

#### ■ 従来技術との経済性比較

※技術・製品の従来技術（競合技術）との初期経費・運転維持管理費の比較について記述してください。

### ④ その他

#### ■ 技術・製品に対する法規制及び関係法令

※技術・製品に適用される法令・指針及び業界の自主基準等の規制及び遵守状況について記述してください。

○製品の場合には製品に適用される法令等（例えば、電気用品安全法、食品衛生法、家庭用品品質表示法など）を、技術の場合には使用または原材料の取り扱いに適用される法令等（例えば、消防法、高圧ガス取締法、大気汚染防止法など）を記載するとともに、業界の自主基準などについても記載してください。

#### ■ 品質管理体制等

※ISO14001 や ISO9001、その他品質保証・管理に関する認証・認定の取得状況について記述してください。品質管理、保証に関する社内規定などについても記載してください。

#### ■ 販売実績

※過去（1年から3年程度）の販売実績（売上高と販売数量）を記述してください。